



新年のご挨拶

奄美佳南園 園長 田村 健

新年明けましておめでとうございます。旧年中は聖隷福祉事業団並びに奄美佳南園のことにつきまして格別のご理解ご協力を賜り、深く感謝致します。一昨年から昨年にかけて、聖隷福祉事業団では奄美地域における児童福祉・障がい者福祉・高齢者介護サービスの一層の充実を図るために、「のぞみ園」の移転新築(奄美市)、春日保育園の増築、「聖隷かがやき」の事業開始(龍郷町)、佳南園在宅機能の市街地への一部移転(奄美市)を実施し、各種サービスの量的・質的向上に努めてまいりました。そして本年は、鹿児島県地域介護基盤整備事業の一環として特別養護老人ホームの一部をユニット化し、よりプライバシーに配慮した生活空間を確保するとともに、個別ケアの質の向上に取り組んでまいります。そして、奄美市が推進している地域包括ケアシステムの構築への積極的な参画や、障がい児・者福祉事業のさらなる充実を図り、年齢や障害の有無にかかわらず「その人らしく」暮らせる地域づくりに貢献してまいります。

至らぬ点多々あるかとは存じますが、本年も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



かなんえんだより

発行 〒894-0014
鹿児島県奄美市名瀬平田町7-15
社会福祉法人聖隷福祉事業団
特別養護老人ホーム奄美佳南園

発行責任者
施設長 田村健

新春福笑いで大笑い、お巡りさんは70点



春日デイサービスでは、新年最初のレクリエーションで福笑いを行いました。

ほとんどの利用者様が時間をかけ真剣な表情で想像しながら福笑いに挑みました。目隠しをとりいざ出来上がった福笑いを見ると、大笑いする人、恥ずかしがる人、逃げ出す人、人それぞれの振る舞いでした。その真剣になった後の仕草が、出来上がった福笑いよりも面白く、またみんなで大笑いです。

そこへ、ちょうど巡回連絡で訪問に来られた警察官(お巡りさん)にも福笑いを行なってもらいました。出来上がった福笑いを見て、自信满满で「割といいんじゃない。」との警察官(お巡りさん)の言葉に、利用者様からは「70点ぐらいかな～」との評価。すると、みんなでまた大笑い。終始笑いの絶えない賑やかな一日でした。

春日デイサービス 武井辰秀



ナリムチ(花餅)



【お知らせ】
紙面に掲載している写真・氏名等は、予めご本人の承諾を得たものです。
記事に関するお問い合わせ、住所移転、郵送不可等、お手数ですが、ご連絡下さいませ。
社会福祉法人 聖隷福祉事業団
奄美佳南園 広報委員会
鹿児島県奄美市名瀬平田町7-15
TEL 0997-52-8688
FAX 0997-52-8695
<http://www.seirei.jp/eldelyhome/amami/>



笑



奄美佳南園でボランティアをしてみませんか?
余興やお話し相手、繕いものなどをお願いしています。
興味のある方は、ぜひご連絡下さい。
0997(52)8688
一緒に働いてみませんか♡



佳南園デイサービス 新春恒例もちつき



12月29日ご利用者の「よいしょ」という掛け声とともに餅つきを開始しました。ご利用者の方々は、職員の餅のつき方やこどりを見られ、自身で餅をついていた当時の頃を色々と思い出されている様子でした。餅つきが進むにつれ会話も弾み話題はお正月のことに、奄美地方ではお正月に「三献」をいただくという習わしがあります。それは地域や家庭で少しずつ違い「自分のとこの汁椀は魚だった。」「自分のところでは刺身に蛸が入っていたよ。」など、あーだこーだと話に花を咲かせながら、餅がつきあがるのを心待ちにし、みんなで楽しいときを過ごしました。

奄美佳南園デイサービス 豊大良



参考資料:いもーれ奄美パーク!



～新人紹介～

今年度、入居課2階に奄美看護福祉専門学校より新卒で入社しました。佳南園では、新人職員として期待が大きく利用者と職員に好かれる人になりたいと一生懸命頑張っています。趣味は、釣りが大好きで大物を釣りたいと目標を立てています。仕事では、まだ、わからない事が沢山ありますが、頑張っていこうと思っていますのでよろしくお願い致します。

入居課
クボ スグル
久保 優



～地域支え合い体制づくり～

地域で多様な人との出会いがあります。私たちは様々な人達の相談を受け、相談に来られた方が安心して生活が続けられるよう地域との関わり方の構築、医療や介護事業所への迅速な連携、支援・予防介護など関係機関へとつなげます。「いつでも訪ねやすい場所」「地域の身近な相談しやすい事業所」を目指します。

聖隷ケアセンター奄美
在宅介護支援センター奄美佳南園
相談員 且 幸子

介護施設等職場見学バスツアーへの参加協力

去る12月4日(日)に鹿児島県社会福祉協議会主催の「介護施設等職場見学バスツアー」が開催され、当施設も訪問施設としてこの事業に参加させて頂きました。当日は案内人による「福祉事業」や「当施設の背景・理念」についての説明を行い、座談会形式での職員との交流会では、職員個々の「自分らしさ」を大切にしながら「求められ必要とされることでの仕事に対する動機付け」など普段職員自身が感じていることをご紹介します。

